

使徒の働き 第13章 30節

「しかし、神はこの方を死者の中からよみがえらせたのです。」

しかし、の言葉は多くは言い訳や反論する場合に使われる。しかし、の言葉が聞こえてくると何か否定的な事柄を聞くことになる、あまり好ましい雰囲気ではなくなる。そうすると周りの口が重くなり次の言葉がうまく出なくなる。

しかし、の言葉が別の方向へ導く鍵となることもある。それは、語られた事柄にさらに深い意味や広がりをつけ加えられてゆく言葉の場合である。そうすると周りの口も軽くなり、語り合いに勢いが増し加わる。そのきっかけとなるのは、最初の話し合いで互いに良く聴くことだ。そこからさらに見えて来る創造的なしかし、の響きとなり会話がますます豊かになる。

しかし、ここでのしかし、は世界が御子イエス・キリストを十字架にあげいのちを奪った暴挙に対するしかし、である。人が世の中心であり続けようとする罪の業に対峙するしかし、である。人が十字架の丘であたかも勝利したかのような錯覚に対するしかし、である。人間が起こすすべての愚かな行動に対するしかし、である。そして、人の力でもって克服できない罪と死に対するしかし、である。神だけが用いることができる、しかし、であり、福音である。

2024年3月29日